

## 交通部門における温室効果ガス 排出削減戦略ワークショップ OECD・ITF国際共同研究報告-



環境研究部 道路環境研究室 主任研究官 曾根 真理 研究官 下田 潤一 室長 並河 良治

地球全体の温室効果ガス排出量の約23%は交通部門からの排出です。特に道路交通からの排出は20%に及んでいます。交通部門からの温室効果ガスは民生部門と並んで排出量増加傾向の強い部門です。このため、交通部門からの排出量の削減は地球温暖化防止のための重要な課題になっています。

各国の交通分野からの温室効果ガス削減方を検討するための国際共同研究が行われています。この共同研究には、経済協力開発機構(OECD)及び国際交通フォーラム(ITF)の加盟国の中から18カ国が参加しています。各国が互いの交通部門における温室効果ガス削減戦略について情報交換を行い、それぞれの事例を研究した上で戦略についての提言を行うことを目的としています。この研究の議長を大西道路経済研究所理事が努めています。国総研からは道路環境研究室の曾根主任研究官がメンバーとなって大西議長をサポートしています。

この度、共同研究の第三回専門家会合を日本で行うことになったことに併せて国際ワークショップを開催することにしました。当日は学者、行政関係者など200名以上が参加し、質疑応答で活発な意見交換が行われました。

日時：2008年10月29日(水)13:30-17:15

場所：虎ノ門パストラル

議事内容：

司会進行 国総研 曾根真理主任研究官

13:30- 開会 佐藤浩道路協会OECD文科会長  
(国総研道路研究部長)

13:35- 研究の背景 大西博文共同研究議長  
(道路経済研究所常務理事)

13:50- 国際共同研究の概要

OECD/ITF事務局 Philippe Crist氏

15:00- フランスの温室効果ガス排出削減戦略

フランス持続可能開発省 Pascal Douard氏

15:30- カナダの温室効果ガス削減排出戦略

カナダ交通省 Andre Bourbeau氏

16:00- ドイツの温室効果ガス排出削減戦略

ベルン工科大学 Carl Friedrich Elmer氏

16:30- 日本の温室効果ガス排出削減戦略

国総研 並河良治道路環境研究室長

17:00- 質疑応答

17:30- 閉会 岸田弘之国総研環境研究部長



写真1 大西議長の発表



写真2 OECD事務局クリス氏の発表

本ワークショップの結果は、国際共同研究報告書の日本語訳と合わせて2009年に国総研資料として出版される予定になっています。

<http://www.nilim.go.jp/lab/dcg/index.htm>